

報道関係各位

2021年12月13日

日本ユニシス株式会社
北陸鉄道株式会社 株式会社ホクリクコム
株式会社計画情報研究所 エヌシーイー株式会社

金沢市において、金沢市住民向けにまちなか消費・公共交通利用の行動変容を促す地域アプリ「い〜じ〜金沢パス」の提供とデータ利活用の実証実験を開始します。

主体事業者として日本ユニシス株式会社、協力事業者として北陸鉄道株式会社、株式会社ホクリクコム、株式会社計画情報研究所、エヌシーイー株式会社が共同し、金沢市において MaaS (Mobility as a Service) および移動データ利活用の実証実験を本日から開始します。

本実験では、金沢市住民向けに地域アプリ「い〜じ〜金沢パス」を提供します。アプリ上で金沢市内店舗施設のイベント情報、スポット情報、クーポン、交通系サービスへのリンク（デジタルチケットサービス「のりまっし金沢」等）を提供して金沢市住民のまちなかへの移動・消費を促すとともに、利用者のデータ提供受容性検証や移動データの利活用の検証を進めていきます。

なお本実験は、経済産業省 令和3年度「地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用推進事業」に選定されています。



金沢市住民向け地域アプリ「い〜じ〜金沢パス」



App Store



Google Play

- | | |
|------------|--|
| 1. 実験期間 | 2021年12月13日（月）～2022年3月31日（木） |
| 2. 事業者と役割 | 主体事業者 日本ユニシス株式会社（全体統括、「い〜じ〜金沢パス」の開発・運用）
協力事業者 北陸鉄道株式会社（市内協力事業者との折衝およびプロモーション）
協力事業者 株式会社ホクリクコム（データ分析）
協力事業者 株式会社計画情報研究所（データ分析）
協力事業者 エヌシーイー株式会社（データ分析） |
| 3. 実験の目的 | ○移動目的と移動手段の統合による、まちなか消費・公共交通利用の行動変容の検証
○利用者のデータ提供受容性を検証
○移動データの利活用機会を広げて MaaS およびデータ利活用の社会実装を進める |
| 4. 実験/検証内容 | 別紙に記載 |

以上

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ> https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/

(別紙) 実験/検証内容

**地域アプリ検証
(い〜じ〜金沢パス)**

イベント情報やお店のクーポン等で
利用者のおでかけ意欲を刺激。
交通チケットや経路検索と組み合わせ
情報提供することで公共交通利用を促進。



利用者



ビッグデータ利活用検証

アプリ取得データに加え、バスのOD、
ETC2.0、タクシードロブなどのデータ
を用いて、5つのユースケースを検証。

1. まちづくりの効果計測
2. まちなか周遊行動分析
3. 駐車場混雑予測
4. 自家用車での来街者の経路分析
5. バスとタクシーの移動需要分析

**データ利活用の
ビジネスモデル
検証**

企業/自治体等へ
のヒアリングを
実施。

蓄積データ



ビッグデータ分析

分析結果



企業/自治体



パーソナルデータ
利活用

分析結果



企業/自治体

許諾者データ

モビリティデータ提供に対する社会受容性評価

利用者に対して、データ提供に関する必要情報
(データ提供先・範囲・目的等)を開示。ユ
ースケースの内容やインセンティブ(商品券等)
の有無による受容性の違いを分析。

パーソナルデータ利活用検証

許諾者データを用いて、第三者(民間/公共)と連携した
3つのユースケースを検証。

1. 商業エリアの行動分析によるサービス向上
2. 特定エリアへの近接をもとに適時プロモーション実施
3. まちづくりなど公共性の高い施策への活用